

## ⑮常光寺観音堂 <sup>つれたりずし</sup> 附厨子3具

(関市指定文化財 一ツ山町)

観音堂は桁行3間、梁間3間と大きくはないですが、釣り合いがとれたきれいな建物です。屋根は現在、<sup>さんかわら</sup>棧瓦が葺かれています。元は<sup>こけら</sup>柿葺きであったことがわかっています。内部には3つの厨子が置かれていますが、中央の厨子の構造はお堂と類似し彩色が鮮やかに残っています。

### 豆知識

附(つれたり)——指定文化財と関連が深く、その価値をより一層高めたり、一体のものとして扱うべき文化財を附指定(つれたりして)として保存が図られます。



### 【アクセス】

関市自主運行バス 市街地病院循環線「梅ヶ枝」下車、北西へ徒歩5分、国道248号沿い

# 関の文化財探訪

その9

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313

## ⑯小瀬方墳

(関市史跡 小瀬)

東海北陸自動車道と国道248号が交差する地点の北東にこんもりとした丘があります。この丘が小瀬方墳です。四角い形の古墳で、3つの段があり、大きさは東西23m、南北22.6～24.5m、高さ3.3～3.7mの規模です。発掘調査が行われていないため、いつごろ作られたのかわかりませんが、美濃地方各地の有力豪族の墓に大形の方墳が採用される7世紀前半に造られたと考えられています。この地域にはこのほかに池尻大塚古墳、御前塚古墳、八王子古墳などの方墳が国指定史跡弥勒寺官衙遺跡群を中心<sup>かんが</sup>に密集しています。これらの方墳にはムゲツ氏に関連した人が葬られているのかもしれませんが。

### 豆知識

ムゲツ氏——小瀬の長良川畔(池尻字弥勒寺)に郡衙(古代の郡役所)や「弥勒寺」(白鳳寺院)を築き、古代の武儀郡を治めた豪族。

【アクセス】 関市自主運行バス わかくさ・千足線「新田」下車、東へ徒歩10分、国道248号から東海北陸自動車道高架下を北に入り、東へすぐ